

保健指導の効果の検証～平成 20 年度から 22 年度の階層化区分の動向～

○齋藤郁恵、畑淳子、佐藤昌司、川名真由美、阿久津由香子

全国健康保険協会福島支部

【はじめに】

全国健康保険協会（以下「協会けんぽ」）福島支部が行っている健診、保健指導について平成 20 年度健診受診者の各階層化区分の 2 カ年の変化を検証することで、今後の事業広報に活かし、加入事業所の健診と保健指導への理解を得る一助としたい。

【方法】

平成 20 年度の 40 歳以上健診受診者を、20 年度に保健指導を実施し、21 年度は実施しなかった I 群 10,431 人（うち特定保健指導対象者：2,272 人の 22%）および 20、21 年度ともに保健指導未実施の II 群 42,185 人（うち特定保健指導対象者：41,858 人の 17%）にわけ、特定保健指導階層化区分の動向を分析した。

【結果】

- 1) 20 年度の健診が積極的支援（以下「積極的」）で、20 年度保健指導を実施し 21 年度未実施の人（1,464 人）の階層は、21 年度は積極的 38.5%、動機づけ支援（以下「動機」）7.1%、情報提供 54.4%で、22 年度は積極的 45.2%、動機 8.9%、情報提供 45.9%であった。他方、20 年度の健診が積極的で、20、21 年度ともに保健指導未実施の人（4,749 人）の階層は、21 年度は積極的 61.8%、動機 10.2%、情報提供 27.9%で、22 年度は積極的 56.9%、動機 11.0%、情報提供 32.1%であった。
- 2) 20 年度の健診が動機で、20 年度保健指導を実施し 21 年度未実施の人（808 人）の階層は、21 年度は積極的 11.9%、動機 25.0%、情報提供 63.1%で、22 年度は積極的 13.0%、動機 34.6%、情報提供 52.4%であった。他方、20 年度の健診が動機で、20、21 年度ともに保健指導未実施の人（2,387 人）の階層は、21 年度は積極的 17.7%、動機 43.4%、情報提供 38.9%で、22 年度は積極的 18.8%、動機 40.2%、情報提供 41.0%であった。
- 3) 20 年度の健診が情報提供で、20 年度保健指導を実施し 21 年度未実施の人（8,126 人）の階層は、21 年度は積極的 1.0%、動機 0.9%、情報提供 98.1%で、22 年度は積極的 2.7%、動機 2.7%、情報提供 94.6%であった。他方、20 年度の健診が情報提供で、20、21 年度とも保健指導未実施の人（34,722 人）の階層は、21 年度は積極的 2.7%、動機 2.4%、情報提供 94.9%で、22 年度は積極的 3.3%、動機 3.1%、情報提供 93.6%であった。

【まとめ】

20 年度に保健指導を実施し 21 年度未実施であった I 群が、20,21 年度とも未実施の II 群に比べ、22 年度の階層化の改善割合が高かった。協会けんぽとしては、より多くの加入者が健診と保健指導を受診できるよう、様々な広報やサービスを提供していきたい。